


2019年3月期 第2四半期 決算説明会



RAV4
(ニューヨークモーターショー出展車両)

トヨタ自動車株式会社
2018年11月6日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- ◆ 為替相場(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場)、株価および金利の変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ 仕入先への部品供給の依存
- ◆ 原材料価格の上昇
- ◆ デジタル情報技術への依存
- ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

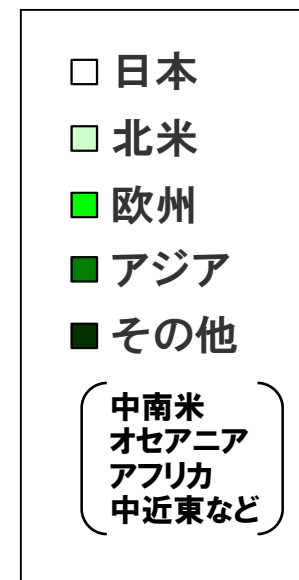
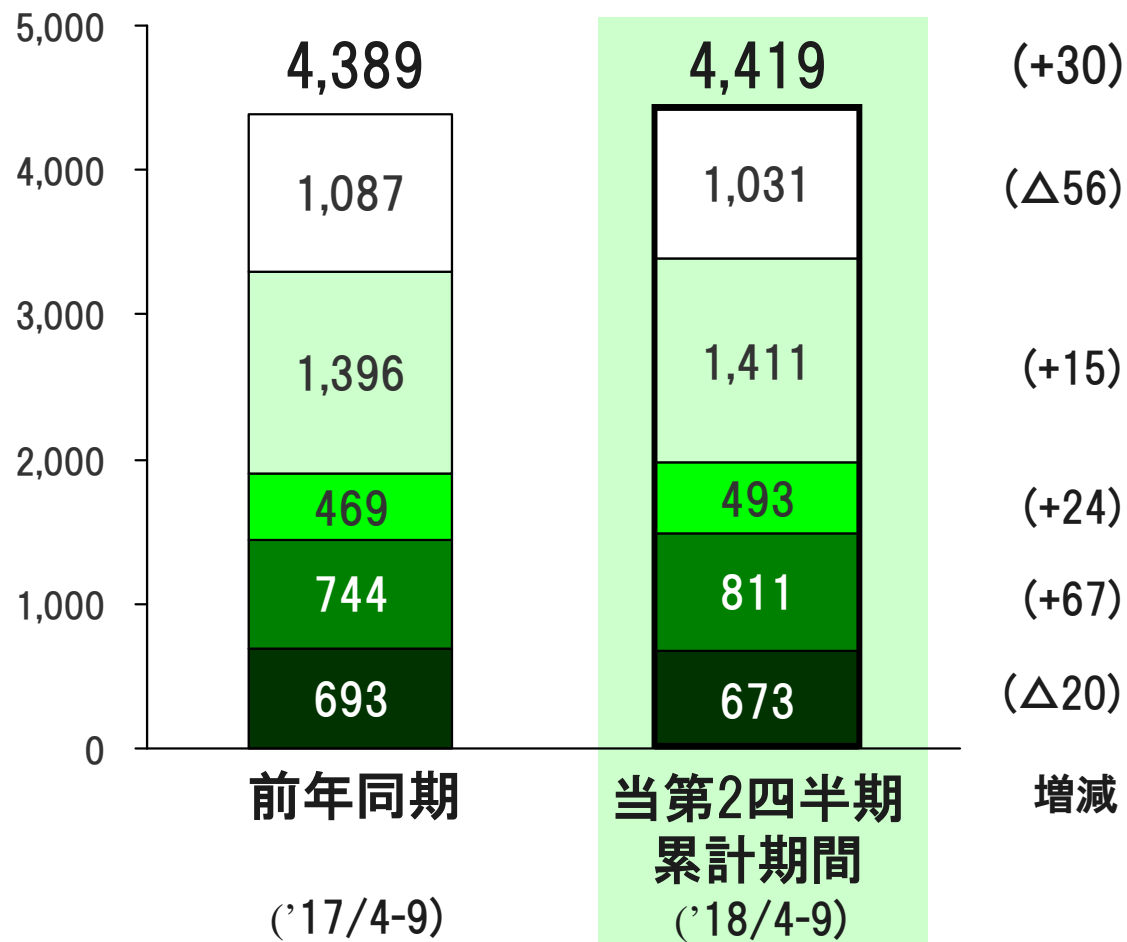
2019年3月期 第2四半期 決算説明会

2019年3月期 第2四半期 実績

2019年3月期 見通し

連結販売台数 (6ヶ月累計)

(単位:千台)



グループ総販売台数 (小売)	5,216	5,293	+77
----------------	-------	-------	-----

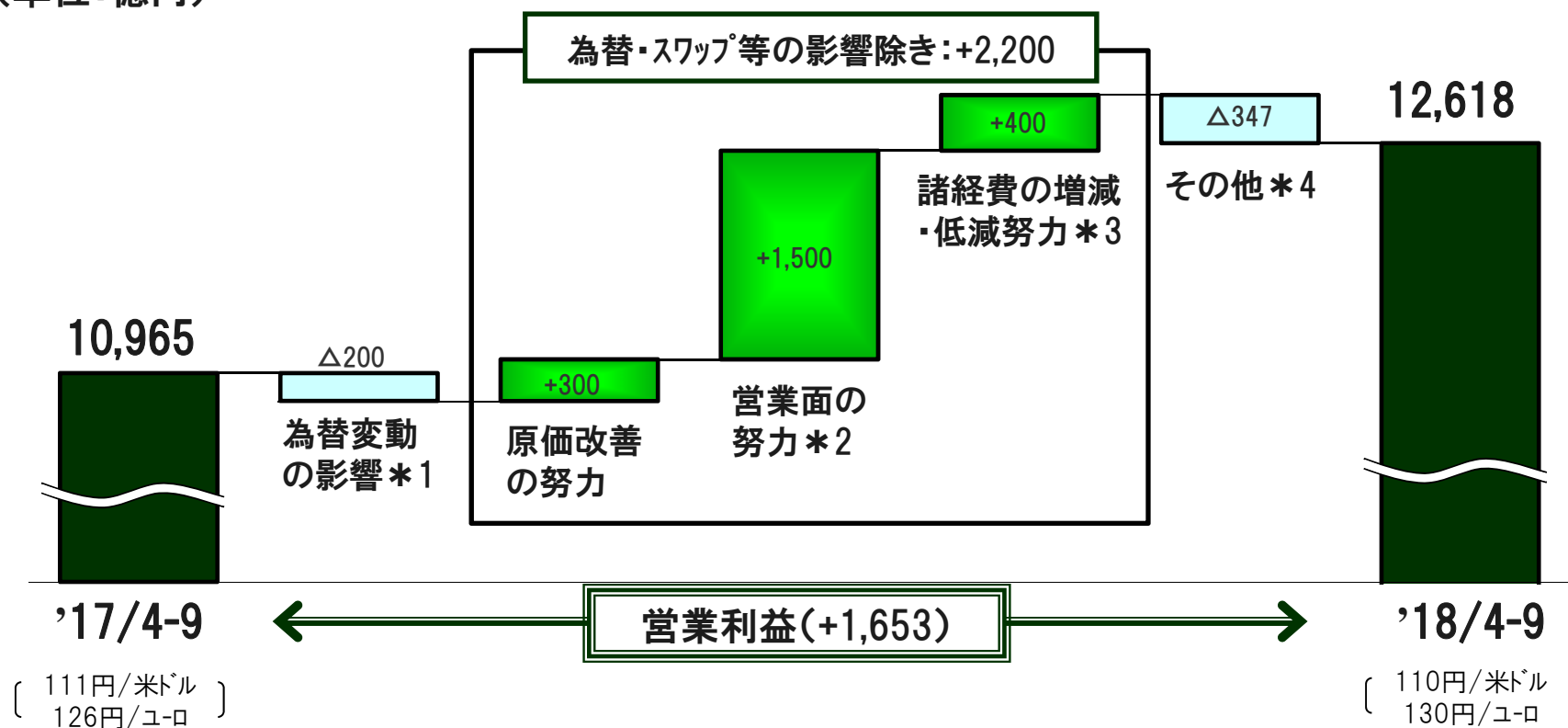
連結決算要約（6ヶ月累計）

(単位：億円)		当第2四半期 累計期間 (’18/4-9)	前年同期 (’17/4-9)	増減
販売台数（千台）		4,419	4,389	+30
売上高		146,740	141,912	+4,827
営業利益		12,618	10,965	+1,653
営業利益率		8.6%	7.7%	
営業外損益		2,869	1,556	+1,313
税引前利益		15,488	12,521	+2,966
持分法投資損益	*1	2,225	2,350	△124
うち 中国	*1	580	539	+41
当期純利益		12,423	10,713	+1,710
当期純利益率		8.5%	7.5%	
為替	米ドル	110円	111円	1円円高
レート	ユーロ	130円	126円	4円円安

- *1 うち、日本1,484（△125）、その他161（△40）
中国小売販売実績（’18/1-6）は686千台（前年比+57千台）
- *2 当社株主に帰属する当期純利益

連結営業利益増減要因 (6ヶ月累計)

(単位:億円)



***1.内訳**

輸出入等の外貨取引分	△450	海外子会社の	△50
(-米ドル)	△150	営業利益換算差	
(-ユーロ)	+100	その他	+300
(-その他通貨)	△400	(外貨建引当の期末換算差ほか)	

***2.内訳**

台数・構成	+1,300
金融事業	+300
その他	△100
(販売諸費用ほか)	

***3.内訳**

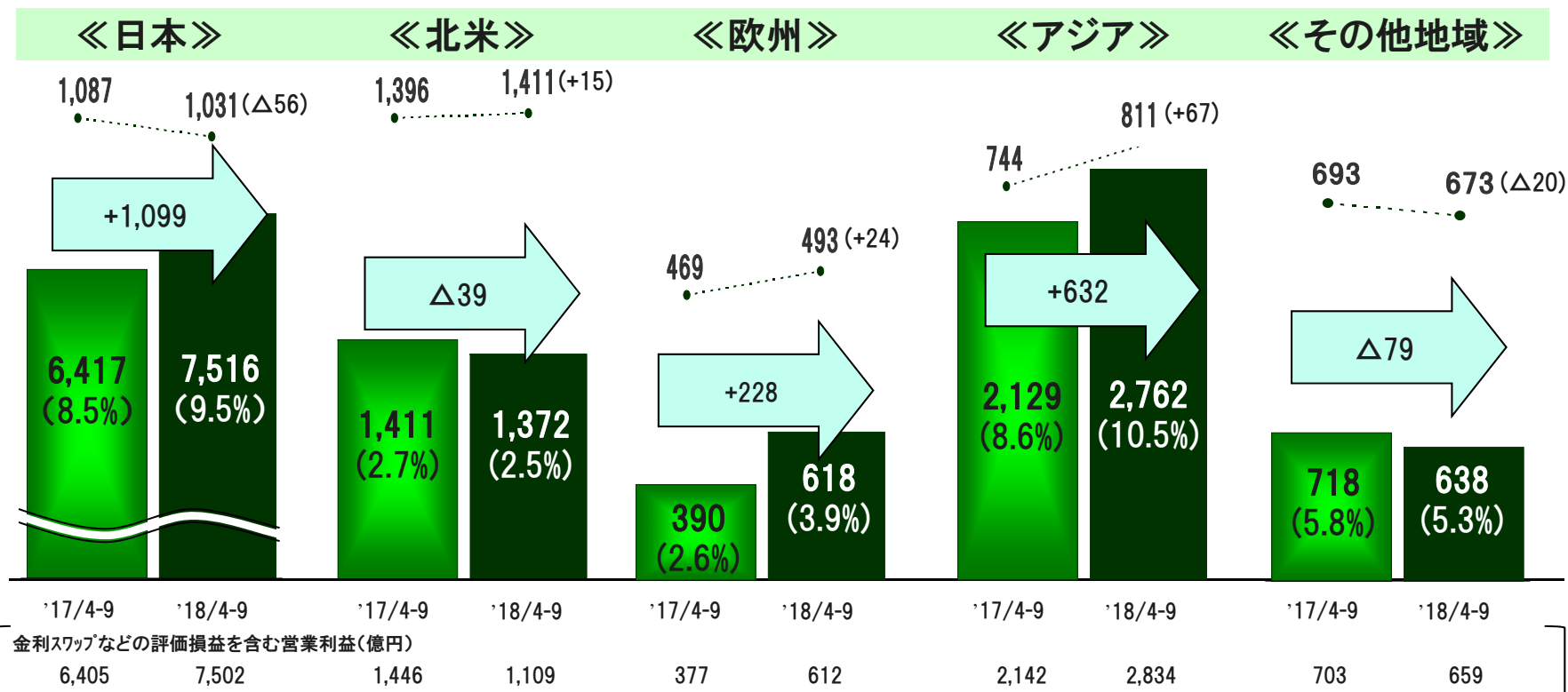
労務費	△250
減価償却費	△100
研究開発費	+250
経費ほか	+500

***4.内訳**

スワップ評価損益ほか	△347
------------	------

所在地別営業利益（6ヶ月累計）

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> -●- 連結販売台数(千台)

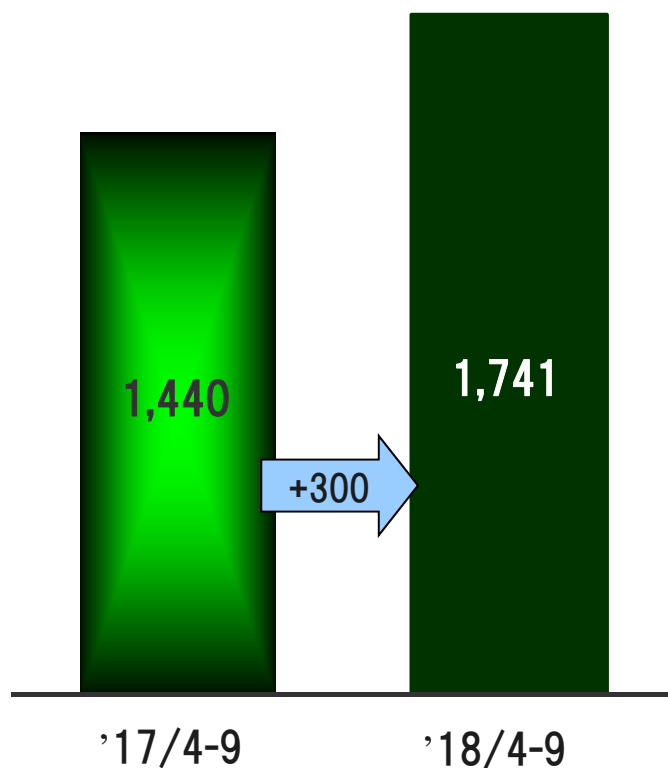


日本	(前年同期比+1,099億円)	原価改善・営業面の努力、諸経費の低減により増益
北米	(前年同期比Δ39億円)	為替、原材料市況上昇の影響等により減益
欧州	(前年同期比+228億円)	営業面の努力、諸経費の低減等により増益
アジア	(前年同期比+632億円)	営業面の努力等により増益
その他地域	(前年同期比Δ79億円)	現地通貨安、原材料市況上昇の影響により減益

金融セグメント営業利益（6ヶ月累計）

■ 営業利益(億円)*

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く

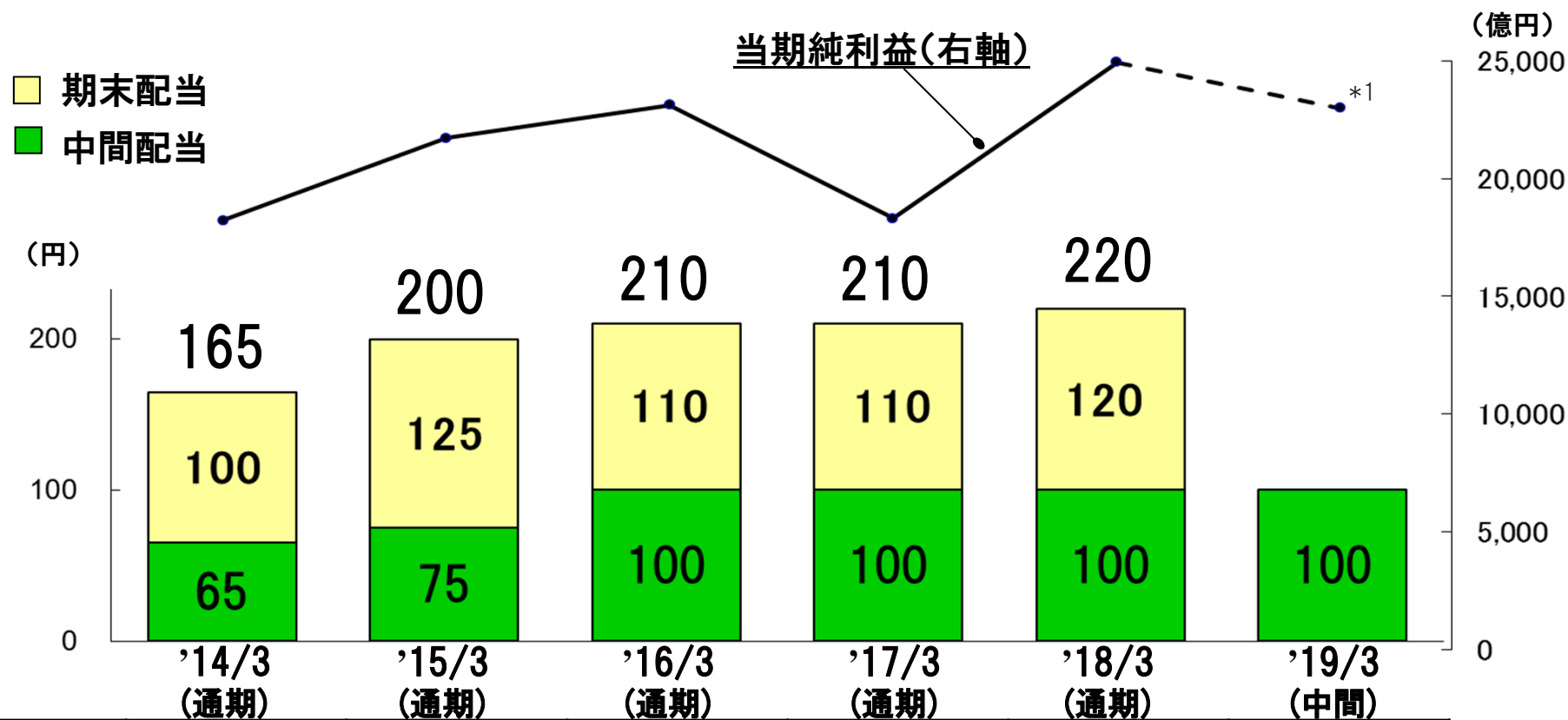


◇ 営業利益*
1,741億円(前年同期比 +300億円)

・融資残高の増加や、貸倒・残価コストの減少等により増益

	'17/4-9	'18/4-9	増減
営業利益	1,447	1,549	+102
金利スワップ取引 などの評価損益	6	△191	△197
金利スワップ取引などの 評価損益を除く営業利益	1,440	1,741	+300

株主還元：配当金



配当総額 (億円)	5,229	6,313	6,455	6,275	6,426	(2,869) ^{*2}
中間 配当性向 ^{*3}	20.6%	21.1%	25.0%	32.1%	27.8%	23.4%
年間 配当性向 ^{*4}	28.7%	29.0%	28.3%	34.6%	26.1%	未定

*1 当期純利益見通し 2兆3,000億円 *2 当中間期の配当総額

*3 中間配当性向 = 1株当たり中間配当金 ÷ 1株当たり当社普通株主に帰属する中間期純利益

*4 年間配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当社普通株主に帰属する当期純利益

株主還元：まとめ

			'19/3期	'18/3期(実績)
中間期	配当	普通株式	@100円/株 23.4% 2,869億円	@100円/株 27.8% 2,934億円
			2,918億円 ^{*1}	2,971億円 ^{*1}
	自己株取得	2,500億円/ 42百万株 (上限)	2,499億円/ 33百万株	
	総還元額	5,418億円(上限)	5,471億円	
	総還元性向 ^{*2}	43.6%(上限)	51.0%	

*1 第1回AA型種類株式への配当を含む

*2 総還元性向：(配当総額(普通株式および第1回AA型種類株式) + 自己株式取得) ÷ 中間期純利益

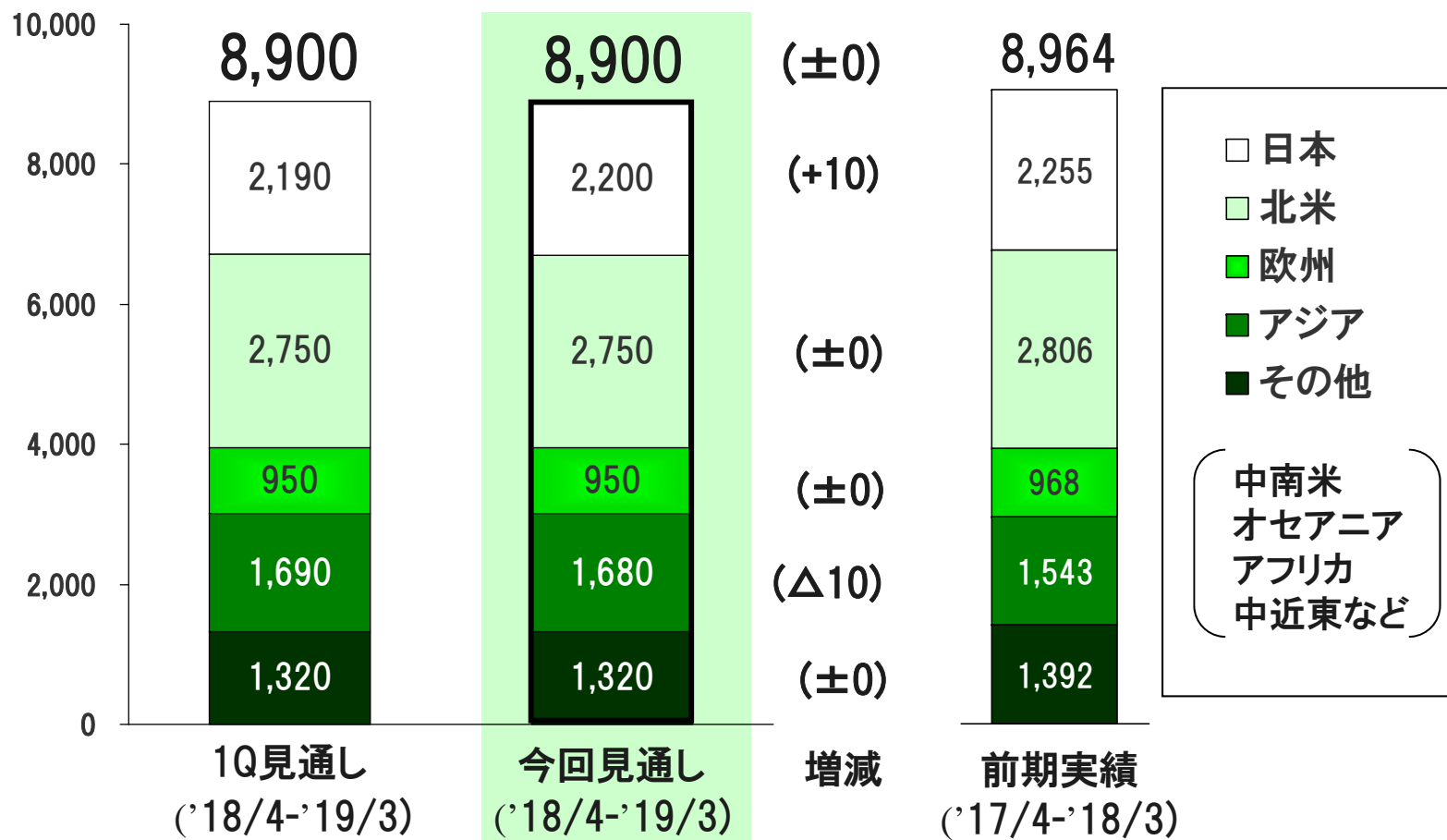
2019年3月期第2四半期 決算説明会

2019年3月期 第2四半期 実績

2019年3月期 見通し

連結販売台数見通し

(単位:千台)



グループ総販売台数 (小売)	10,500	10,500	±0	10,441
-------------------	--------	--------	----	--------

連結決算見通し要約

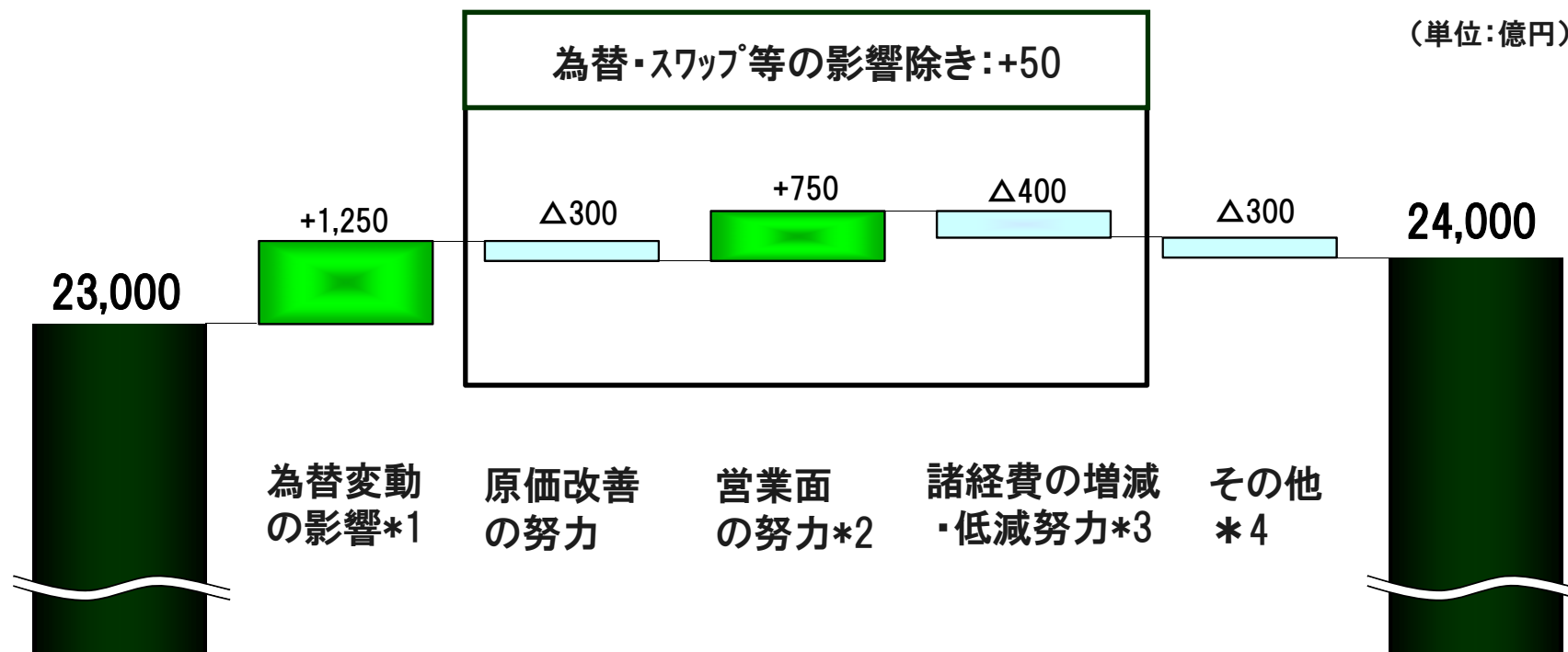
(単位:億円)	今回 見通し (’18/4-’19/3)	1Q 見通し (’18/4-’19/3)	増減	前期実績 (’17/4-’18/3)	
販売台数 (千台)	8,900	8,900	±0	8,964	
売上高	295,000	290,000	+5,000	293,795	
営業利益	24,000	23,000	+1,000	23,998	
営業利益率	8.1%	7.9%		8.2%	
税引前利益	27,200	24,500	+2,700	26,204	
持分法投資損益	4,600	4,400	+200	4,700	
当期純利益 *1	23,000	21,200	+1,800	24,939	
当期純利益率 *1	7.8%	7.3%		8.5%	
為替 レート	米ドル ユーロ	110円 *2	106円	4円円安	111円
		130円 *2	126円	4円円安	130円

*1 当社株主に帰属する当期純利益

*2 第2四半期累計実績：米ドル110円/ユーロ130円、’18年10月以降の前提為替レート：米ドル110円/ユーロ130円 14

連結営業利益見通し増減要因(1Q見通し差)

(単位:億円)



為替変動の影響*1 原価改善の努力 営業面の努力*2 諸経費の増減・低減努力*3 その他*4

'19/3期 1Q見通し
〔 106円/米ドル
126円/ユーロ 〕

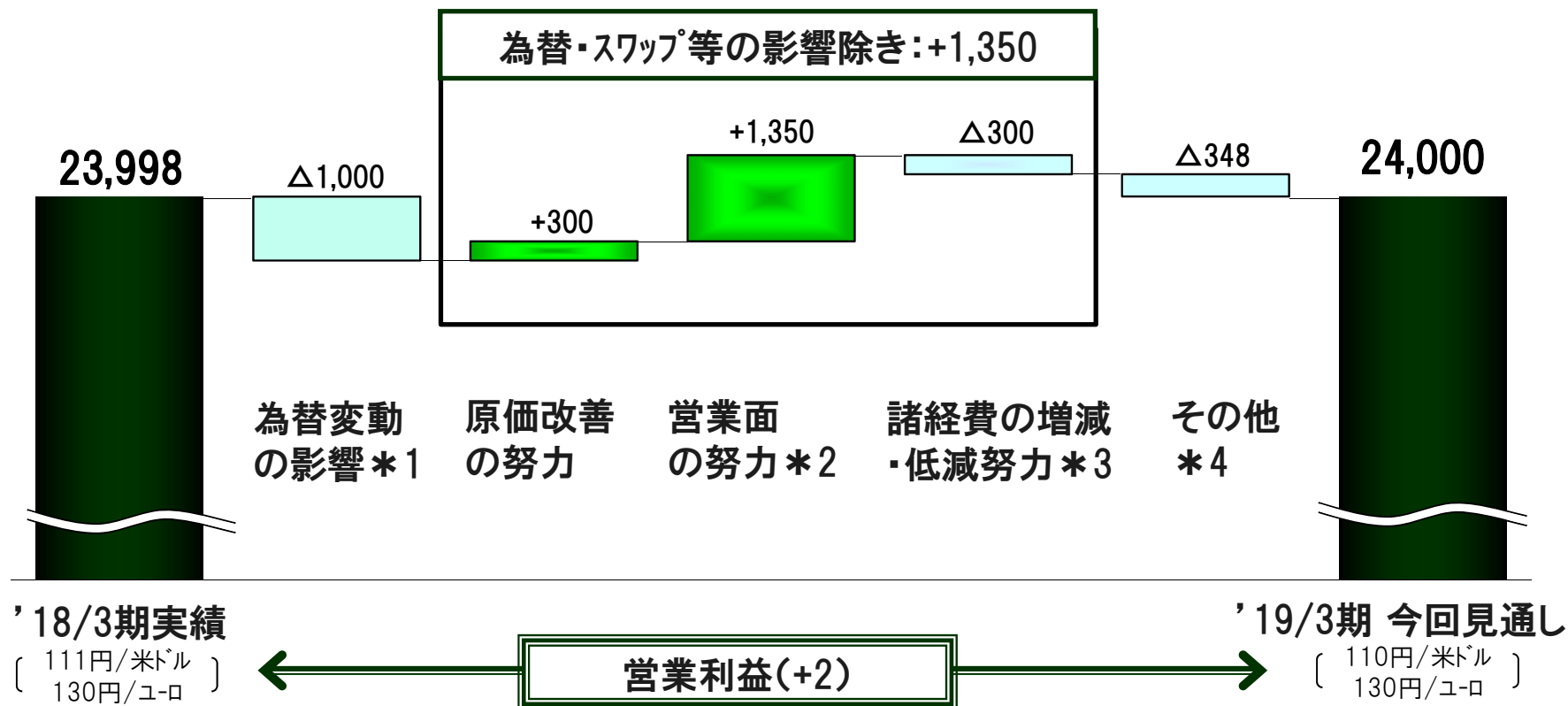
営業利益(+1,000)

'19/3期 今回見通し
〔 110円/米ドル
130円/ユーロ 〕

*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	+1,550	海外子会社の	+100	労務費	△50	スワップ評価損益他	△300
-米ドル	+1,650	営業利益換算差		減価償却費	+100		
-ユーロ	+200	その他	△400	研究開発費	±0		
-その他通貨	△300	(外貨建引当の期末換算差ほか)		経費ほか	△450		

連結営業利益見通し増減要因(前期差)

(単位:億円)



*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	Δ1,400	海外子会社の	Δ300	台数・構成	+450	労務費	Δ400
-米ドル	Δ400	営業利益換算差		金融事業	+200	減価償却費	Δ400
-ユーロ	±0	その他	+700	その他	+700	研究開発費	Δ250
-その他通貨	Δ1,000	(外貨建引当の期末換算差ほか)		(販売諸費用ほか)		経費ほか	+750
						スワップ評価損益他	Δ348

競争力強化

競争力強化に向けた取り組み（決算発表にてご説明）

- ✓ トヨタの競争力を支えるモノづくり（河合副社長/2月）
- ✓ トヨタのもっといいクルマづくり（吉田副社長/8月）
- ✓ 競争力強化・持続的成長に向けた販売の取り組み
（ルロワ副社長、レンツ専務/今回）

未来のモビリティ社会の実現に向けた取り組み（ ）は公表月

- ✓ 自動運転車に関する技術での、Uber社との協業を拡大（8月）
- ✓ 新しいモビリティサービスの構築に向け、
ソフトバンクと戦略的提携に合意し、共同出資会社を設立（10月）
- ✓ 低炭素社会の実現に向けた取り組み
 - 「貨物輸送のゼロ・エミッション化」を目指した米ロサンゼルス市港湾局の新プロジェクトに参画(FC大型商用トラック10台を導入など)（9月）
 - ポルトガルのカエタノ・バス社に燃料電池システムを供給（9月）
 - 水素活用による鉄道と自動車のモビリティ連携について、JR東日本との検討開始（9月）

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

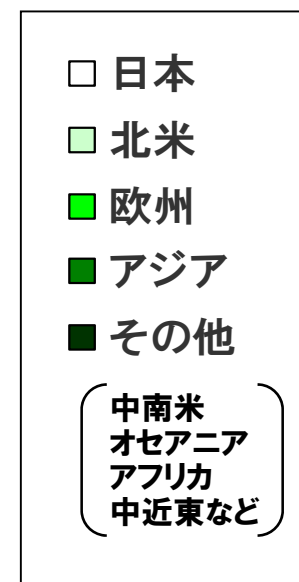
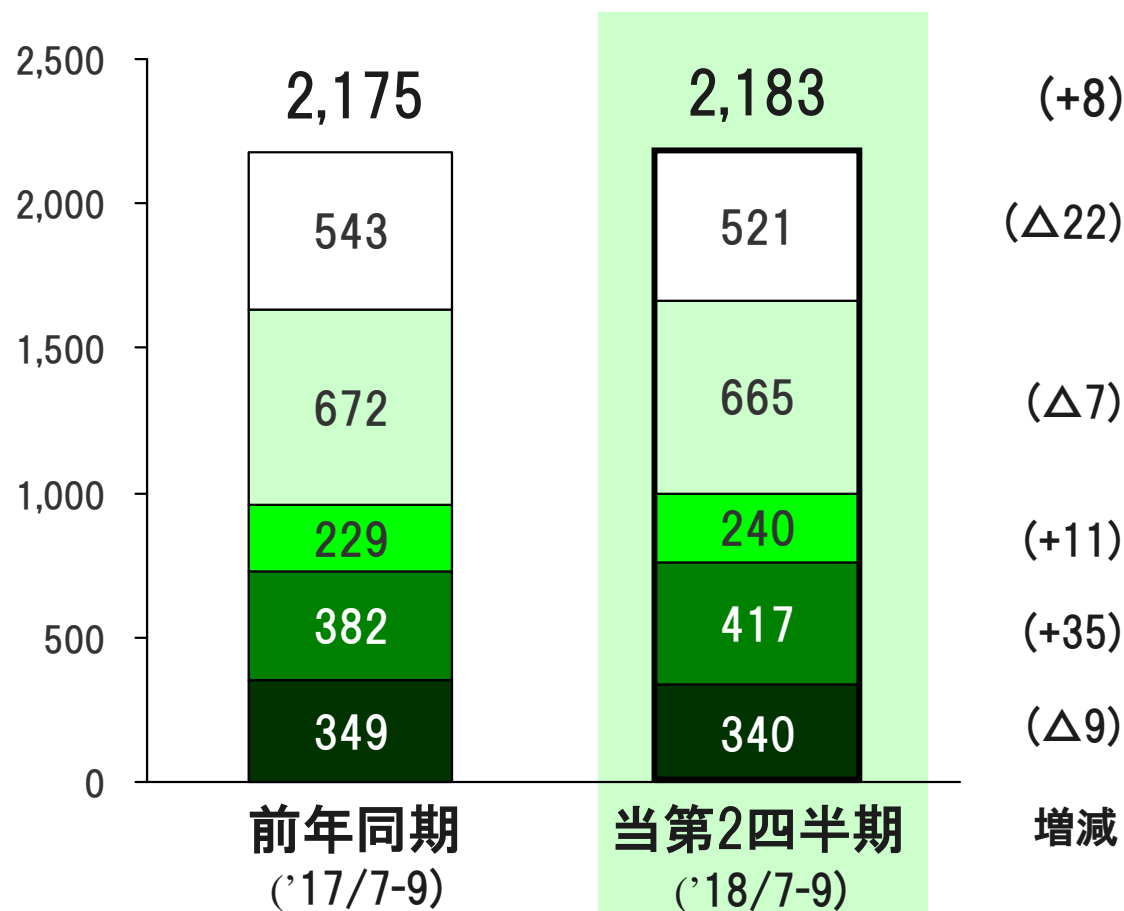


ES 300h

トヨタ自動車株式会社
2018年11月6日

(ご参考)連結販売台数 (3ヶ月)

(単位:千台)



グループ総販売台数 (小売)	2,626	2,677	+51
-------------------	-------	-------	-----

(ご参考) 連結決算要約 (3ヶ月)

(単位：億円)		当第2四半期 (’18/7-9)	前年同期 (’17/7-9)	増減
販売台数 (千台)		2,183	2,175	+8
売上高		73,112	71,436	+1,676
営業利益		5,791	5,222	+569
営業利益率		7.9%	7.3%	
営業外損益		1,557	505	+1,052
税引前利益		7,349	5,728	+1,621
持分法投資損益	*1	1,060	972	+88
うち 中国	*1	304	233	+70
当期純利益		5,850	4,582	+1,268
当期純利益率		8.0%	6.4%	
為替	米ドル	111円	111円	±0円
レート	ユーロ	130円	130円	±0円

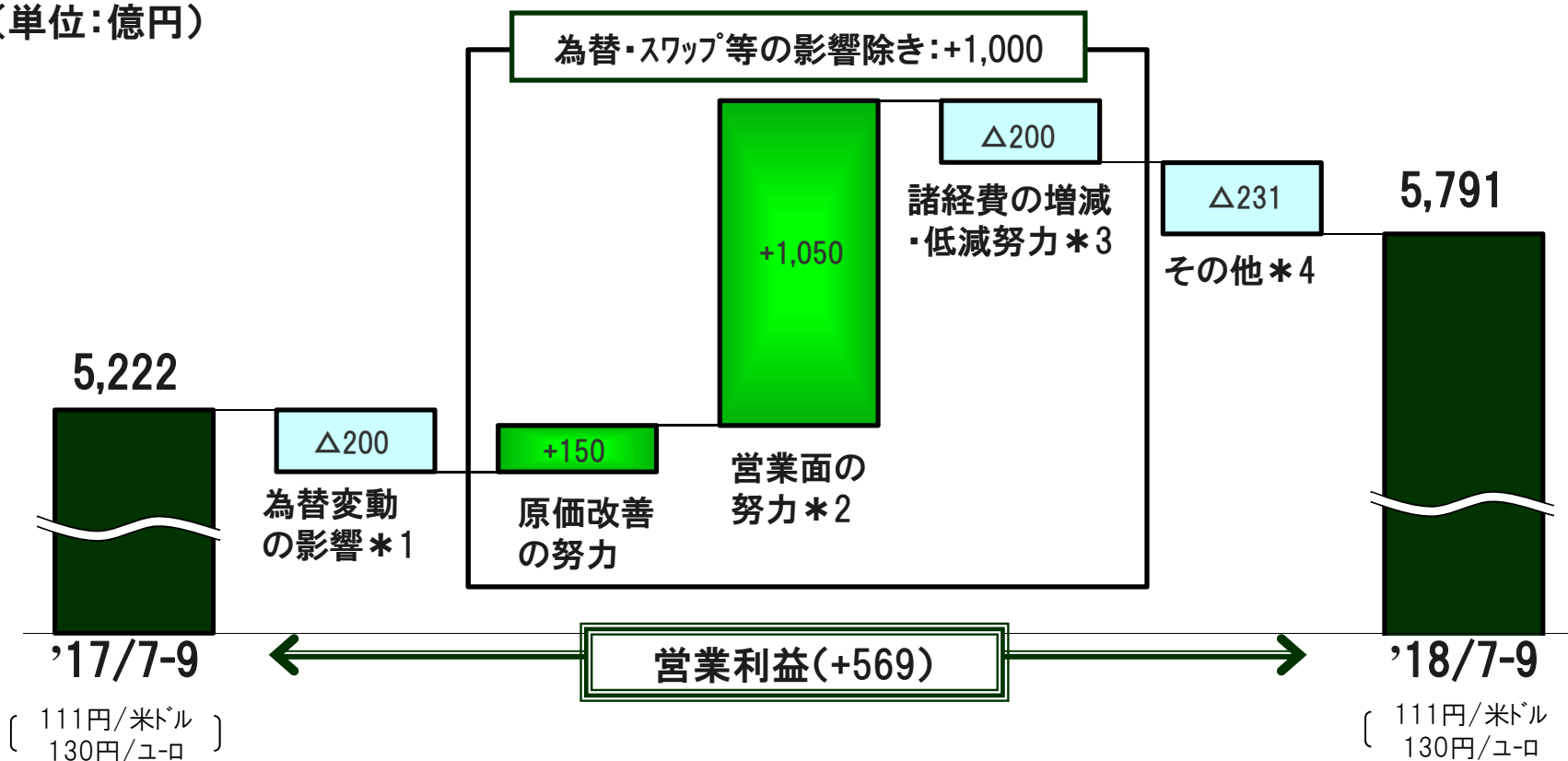
*1 うち、日本680 (+54)、その他76 (△38)

中国小売販売実績 (’18/4-6) は361千台 (前年比+31千台)

*2 当社株主に帰属する当期純利益

(ご参考) 連結営業利益増減要因 (3ヶ月)

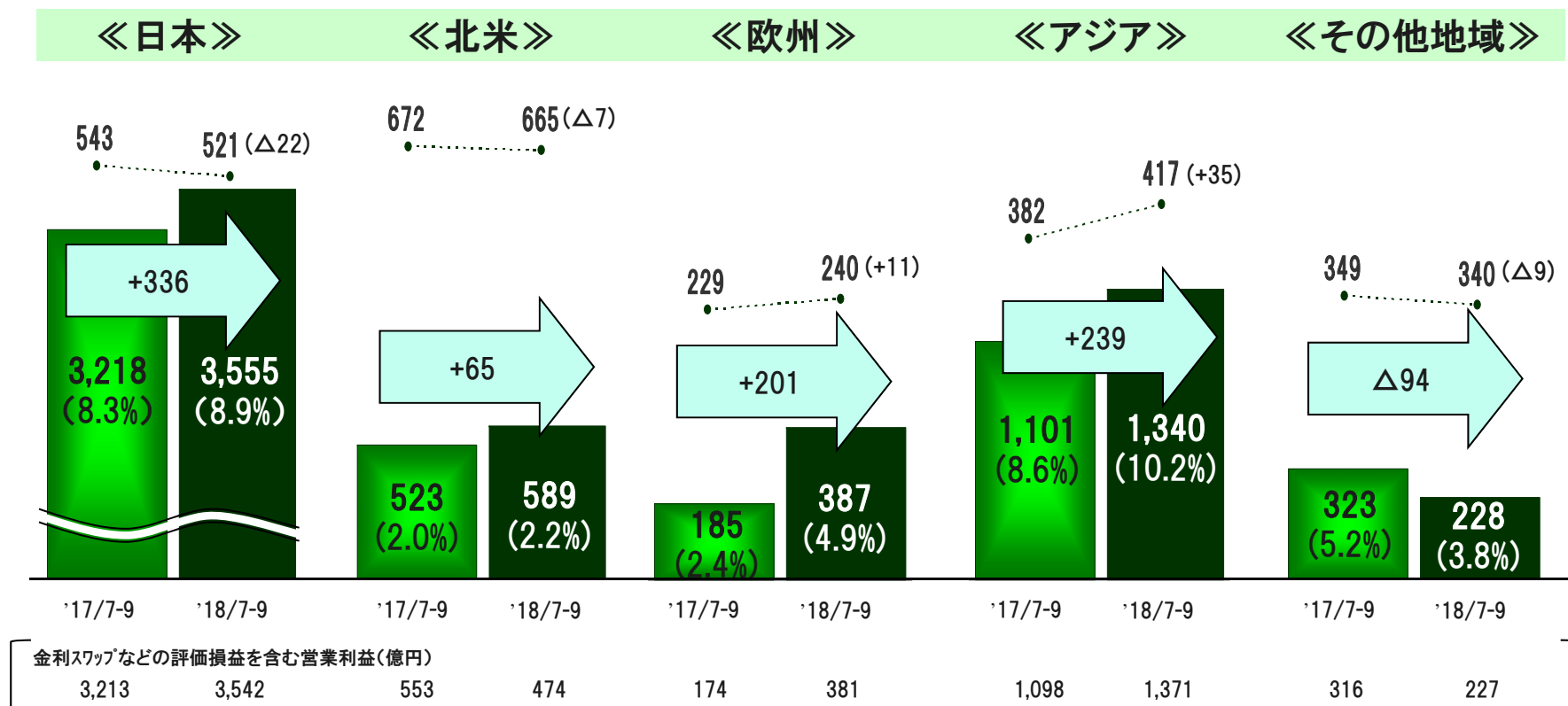
(単位:億円)



*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	$\Delta 300$	台数・構成	$+700$	労務費	$\Delta 100$	スワップ評価損益	$\Delta 231$
(-米ドル)	$+100$	金融事業	$+250$	減価償却費	$\Delta 50$	ほか	
(-ユーロ)	± 0	その他	$+100$	研究開発費	$+150$		
(-その他通貨)	$\Delta 400$	(販売諸費用ほか)		経費ほか	$\Delta 200$		
		海外子会社の					
		営業利益換算差					
		$\Delta 50$					
		その他					
		$+150$					
		(外貨建引当の期末換算差ほか)					

(ご参考) 所在地別営業利益 (3ヶ月)

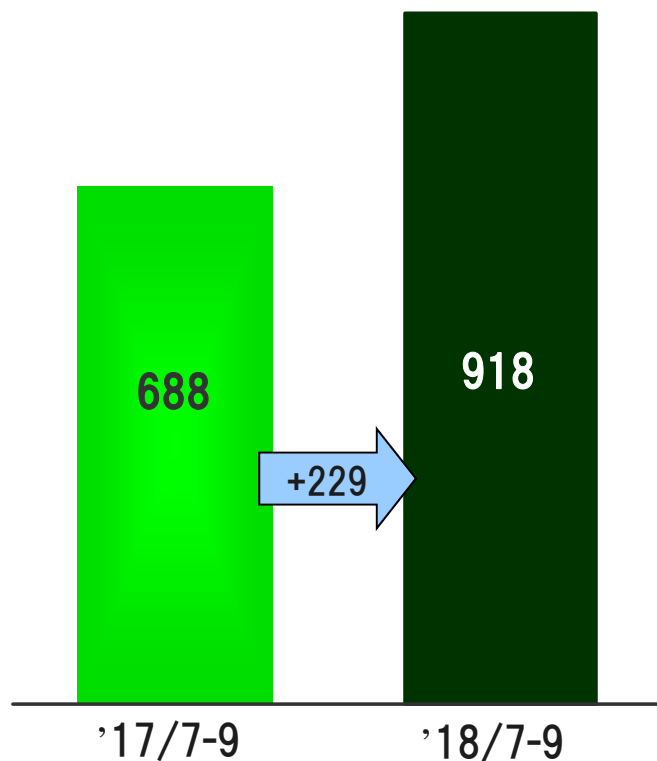
■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> ●---● 連結販売台数(千台)



(ご参考) 金融セグメント営業利益 (3ヶ月)

■ 営業利益(億円)*

* 金利スワップ取引などの評価損益を除く

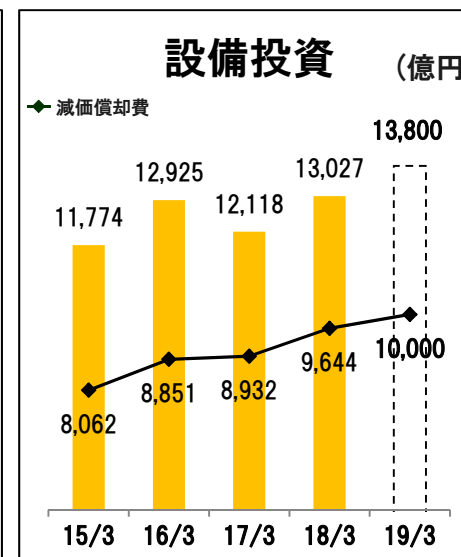
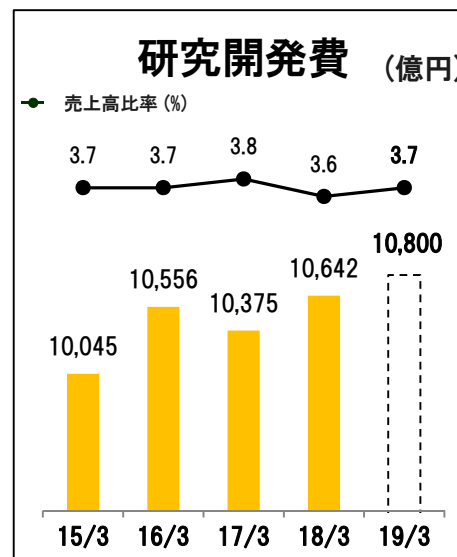
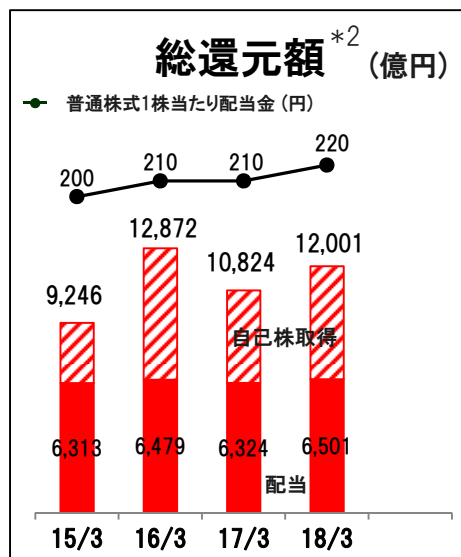
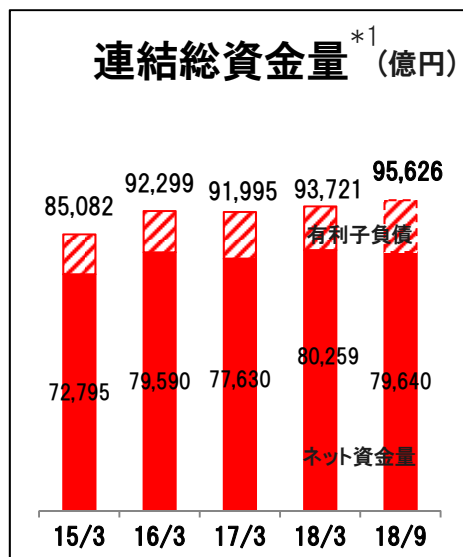
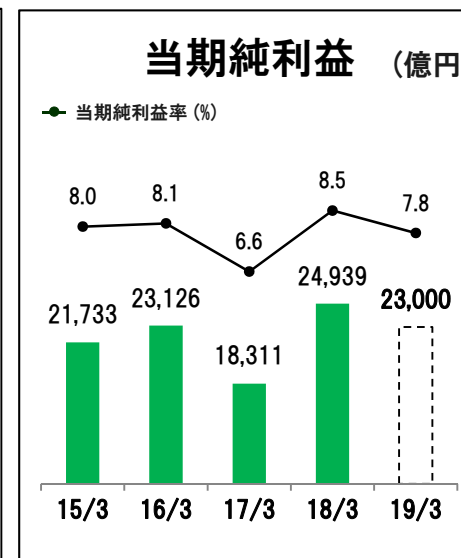
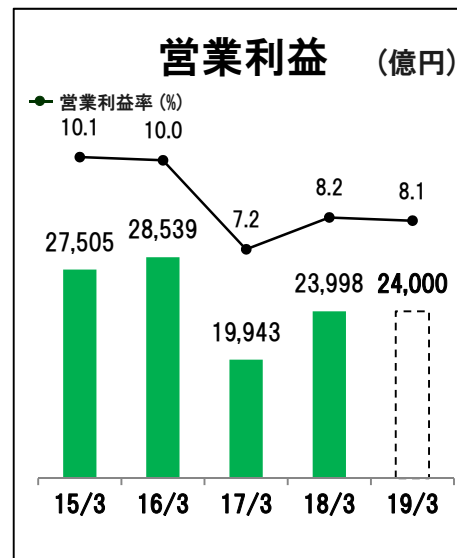
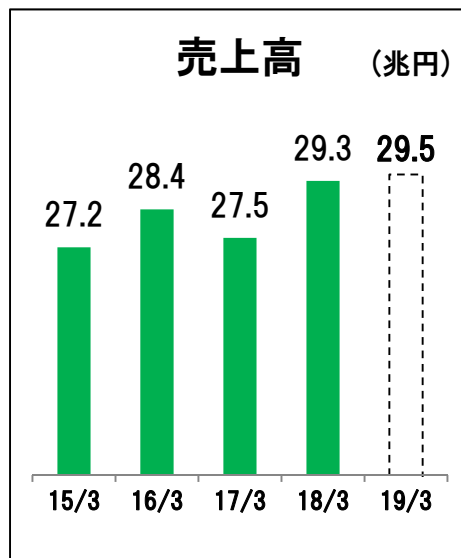
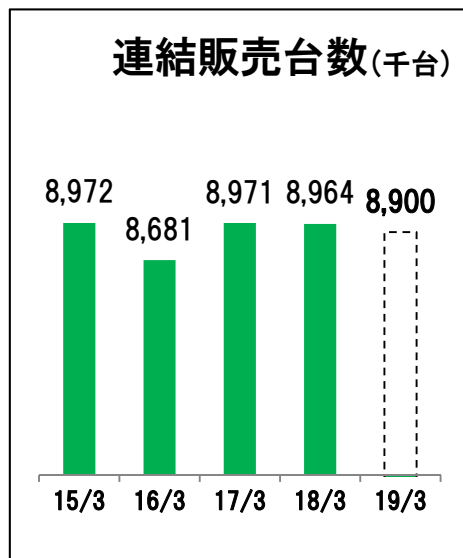


◇ 営業利益*
918億円(前年同期比 +229億円)

	'17/7-9	'18/7-9	増減
営業利益	694	814	+120
金利スワップ取引 などの評価損益	5	△103	△109
金利スワップ取引などの 評価損益を除く営業利益	688	918	+229

(ご参考) 業績推移

☐ 見通し



*1 総資金量：金融事業を除いた、現金及び現金同等物、定期預金、市場性ある負債証券および信託ファンドへの投資

*2 配当には第1回AA型種類株式への配当を含む

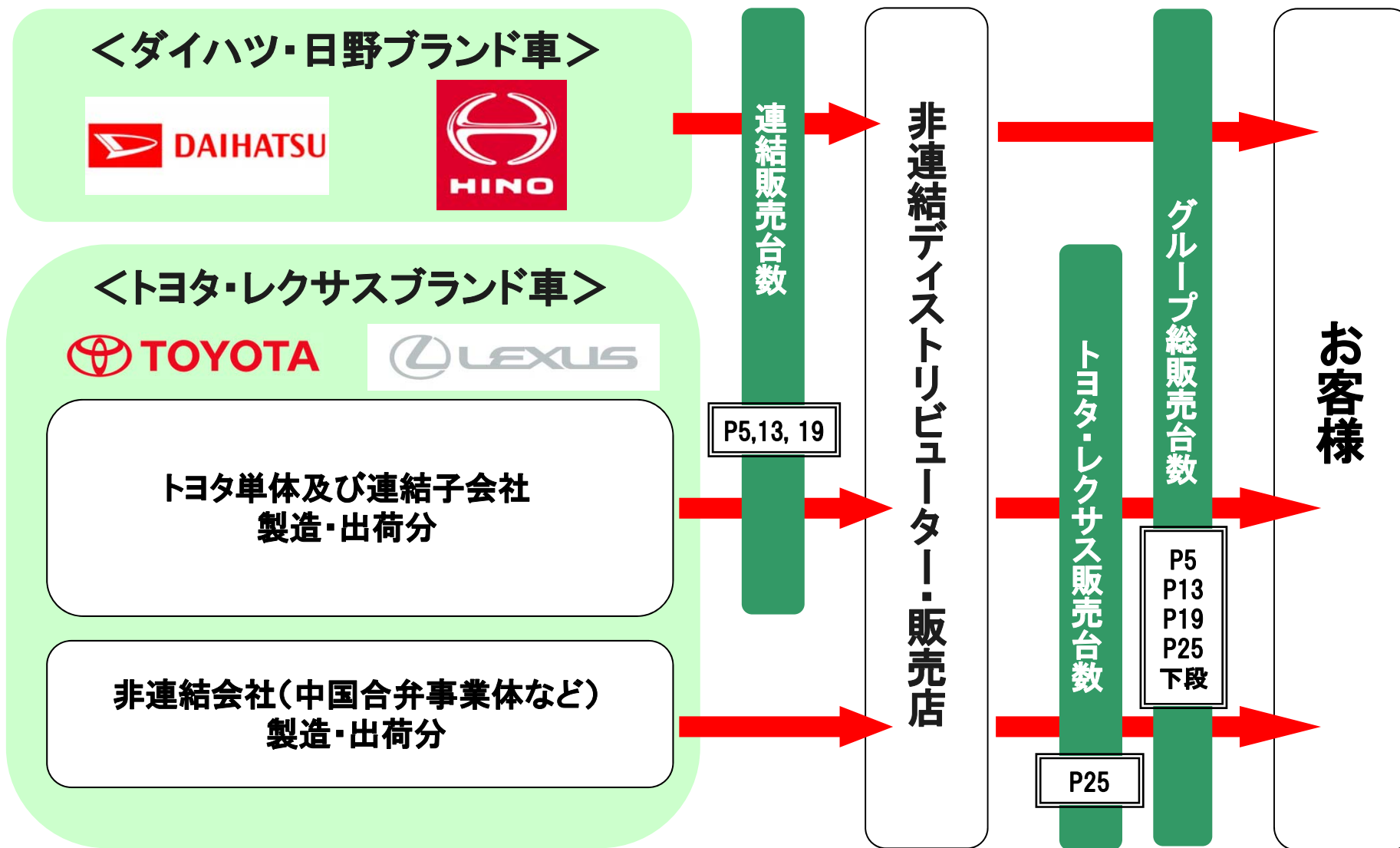
(ご参考) 台数見通し

(単位:千台)

			今回 見通し (’18/4-’19/3)	1Q 見通し (’18/4-’19/3)	増減
トヨタ・ レクサス	生産 *1	国内	3,200	3,190	+10
		海外	5,700	5,710	△10
		合計	8,900	8,900	±0
	販売 (小売) *2	国内	1,540	1,530	+10
		海外	7,960	7,970	△10
		合計	9,500	9,500	±0
	輸出		1,940	1,940	±0
グループ総販売(小売)*2 … ダイハツ、日野ブランド含む			10,500	10,500	±0

*1. 非連結会社による生産台数を含む *2. 非連結会社による販売台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り